

備えましょう



いざという時、被害を最小限にするためには、日頃からの備えと適切な行動が必
 要／危機管理室 ☎463-1788

避難情報の名称が変更されました

平成28年8月の台風第10号に伴う河川はん濫被害等を踏まえて、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」が内閣府において改定され、避難情報の名称が以下のとおり変更されました。
 今後、市が避難情報を発表する際は、変更後の名称で発表します。

変更前	変更後	求められる行動
避難準備情報	避難準備・高齢者等避難開始	避難の準備を始める。避難行動に時間のかかる人は避難を始める。
避難勧告	避難勧告	避難場所への避難を始める。
避難指示	避難指示(緊急)	ただちに避難を完了する。

土砂災害に注意しましょう

集中豪雨や台風などの大雨に限らず、何日も雨が降り続いた場合には、土砂災害(がけ崩れ)の危険性が高まります。

土砂災害警戒情報*が発表されたときは特に注意してください。
 ※土砂災害警戒情報は、土砂災害の危険性が高まったときに県と気象庁が共同で発表する警戒情報です。

◆土砂災害警戒区域が指定されました。

埼玉県が土砂災害防止法に基づき、朝霞市の土砂災害警戒区域指定の告示を行いました。

指定区域は埼玉県のホームページから確認することが出来ます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b1002/kasenn/kuikishite.html>

がけ崩れの前兆現象を発見

- 小石がぱらぱら落ちる
- 新たな湧水が発生する
- 湧水が濁る、湧水の量が急激に増加または減少する、湧水が枯渇する
- 斜面に亀裂、膨らみが生じる
- 斜面から山鳴り、地鳴り、異常な音が聞こえる



ただちに **避難開始!**

○防災情報の入手先

国土交通省 川の防災情報 全国の河川や水位などの情報 http://www.river.go.jp/83.html		埼玉県防災情報メール(事前登録制) 気象警報や地震などの防災情報の配信 http://saitamapref.bosai.info/bosaimail/index.html	
朝霞市メール配信サービス(事前登録制) 防災や市政に関する最新情報の配信 市ホームページにある「メール配信サービス」から登録してください。		テレビ埼玉データ放送 ①チャンネルをテレビ埼玉(3ch)にします。 ②「d」(データ)ボタンを押します。 ③「朝霞市からのお知らせ」を押します。	

朝霞市からの情報は、市ホームページ、ツイッター、フェイスブックで確認することができます。(URLおよびQRコードは裏表紙をご参照ください。)

防災行政無線の放送内容の確認方法について

災害発生時には防災行政無線を使って、避難情報などをお知らせすることがあります。

防災行政無線の放送内容は、次の方法で確認することができます。

- ①専用ダイヤル／0800-8000-744(通話無料)
 ※IP電話から放送の確認はできません。
 ※回線が混み合っている場合はつながりにくいことがあります。しばらくしてからおかけ直してください。
 - ②朝霞市メール配信サービスで放送内容を送信しています。
 - ③市ホームページ、ツイッター、フェイスブックに放送内容を掲載しています。
- ※平常時の業務時間外は、ツイッターとフェイスブックでお知らせしています。
 ただし、①～③とも、定時放送(子どもの見守り放送、夕焼け放送)は除きます。
 ②・③に関する☎／市政情報課 ☎463-3059

道路冠水対策にご協力ください

ご自宅周辺の道路脇に設置されている雨水ますに落ち葉やごみが溜まっていると、道路冠水の原因となります。台風や大雨が予想される前に落ち葉・ごみの除去をお願いします。

道路脇(私道を除く)のますのつまりがある場合は下記にご連絡ください。
 また、市では大雨対策として土のうの配布を行っています(無償ですが回収は行いません)。配布を希望の場合は下記にお問い合わせください。
 ※大雨時のご連絡ですと、配布が間に合わないことがありますので、ご連絡は(土日を除く)お早めをお願いします。



通常のます



落ち葉やごみが溜まっているます(清掃のご協力をお願いします)



つまっているます(下記にご連絡ください)

☎／道路整備課 ☎463-0912



台風

集中豪雨

河川の増水

風水害に

台風やゲリラ豪雨による被害が各地で多発しています。要です。皆さんで再確認してみましょう。

防災啓発冊子「あさか防災」を発行しました

防災関係団体に参加いただき防災啓発冊子作成委員会を立ち上げ、災害時に役立つ施設や場所、浸水想定区域や小学校区ごとの地図および地震や風水害時の行動や備え等を掲載した防災啓発冊子を作成しました。

冊子は市ホームページからダウンロードすることができますので、ご活用ください。

URL : <http://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/6/asakabousai.html>



日頃から備えましょう

ゲリラ豪雨・竜巻や台風から身を守る場所は、自宅などの建物内です。雨と風から建物を守るための準備をしておきましょう。

また、荒天時は「外出先から早めに帰宅する」、「不要不急の外出は控える」、「気象情報をこまめに確認する」といった行動も重要です。

風の強さ

平均風速 10~15m	やや強い風		風に向かって歩きにくくなる。
平均風速 15~20m	強い風		風に向かって歩けない。
平均風速 20~25m	非常に強い風		車の運転を続けるのは危険な状態となる。
平均風速 25~30m			屋外での行動は危険。プロップ塀が壊れたりする。
平均風速 30m以上	猛烈な風		屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

雨の強さ

1時間雨量 10~20mm	やや強い雨		ザーザーと降る。	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。
1時間雨量 20~30mm	強い雨		どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
1時間雨量 30~50mm	激しい雨		バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなる。都市では下水管から雨水があふれる。
1時間雨量 50~80mm	非常に激しい雨		滝のように(ゴーゴーと)降り続く。	地下室などに雨水が流れ込んだり、マンホールから水が噴出したりする。多くの災害が発生する。
1時間雨量 80mm以上	猛烈な雨		息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

ゲリラ豪雨・竜巻からの避難



積乱雲を発見

ゲリラ豪雨や竜巻の危険性があります

積乱雲(入道雲・雷雲)の特徴



- 大きさは高さ十数km、水平方向に数km~十数km
- 単独の積乱雲の寿命は30分~1時間程度
- 発達した積乱雲は黒く見え、周囲は急に暗くなる
- 急に冷たい風が吹き出す
- 局地的に総雨量が数十mmに達する激しい雨、ひょう、竜巻、雷が発生することがある

身の安全を確保!!

屋内にいる場合

- 浸水する可能性が低い部屋に移動する(垂直避難)
- 窓やカーテン、雨戸を閉める
- 部屋の隅、ドア、外壁、窓から離れて部屋の中央で身を守る



屋外にいる場合

- 近くの丈夫な建物の中へ移動する(物置や車庫、プレハブは危険)
- 川や水路のそばから離れる(急激な増水の危険)
- 樹木のそばから離れる(落雷の危険)